

# Macour Time Machine

主筆ヤマケイの

# マクール タイムマシン

## 業界初のナイターレースが桐生で開催!

### 1997年

### 1997年主な出来事

- 安室奈美恵のCAN YOU CELEBRATE? がCD年間セールス1位
  - 消費税5%がスタート
  - サッカー W杯初の本大会出場決める
  - ロシア船籍のタンカー「ナホトカ」重油流出事故
- 【流行語大賞】「失楽園(する)」(渡辺淳一、黒木瞳)

### 優秀選手表彰

【最優秀選手】	服部幸男
【最優秀新人選手】	原田幸哉
【最多賞金獲得選手】	服部幸男
【最高勝率選手】	今村豊
【最多勝利選手】	村上信二
【優秀女子選手】	大島聖子
【特別賞】	該当者なし
【記者大賞】	服部幸男

### ナイターレースが始まる

この年の最大のニュースを挙げると、何と言ってもナイターレースの開始だ。記念すべき初開催は、9月20日からのボートレース桐生。大勢のファンが入場し、同時に電話投票での売り上げ拡大の期待も高まった。

公営競技では、既に地方競馬の大井競馬場でナイターが1986年から始まっており、大成功を収めていた。ボートでも84年に浜名湖で実験が行われていたが、試行錯誤が繰り返され、ようやく実現に至った。

同年中にはプロペラを使わないウォータージェットエンジンの実験も行われたが、実現には至らなかった。またヘルメットがフルフェイス型に変わり、加えて選手持ちとなったことで個々のデザインが可能となった。

### グレード制度の見直し

この年から、いくつかの特別競走が現在のグレードに改められた。大きな変更点は、12月のグランプリシリーズがGIからSGに昇格した。また4月以降、それまでGIIだったモーターボート大賞がGIへ(その後再びGIIに戻る)。住之江で行われてきた高松宮記念も、この年からGIに昇格している。

### 新たなSGウイナーが誕生

この年はSG初制覇が相次いだ。クラシックで西島義則、グラインドチャンピオンで市川哲也、オーシャンカップは熊谷直樹が初V。そしてダービーではまだ23歳の山崎智也が差し切り、続く、新SG、グランプリシリーズは小畑実成が人気薄で快勝して、実に5人もの新たなSGウイナーが誕生した。その一方、メモリアルでは大ベテラン・安岐真人が制して、現在まで残っているSG最年長優勝(52歳7か月)の記録を打ち立てた。

### 壮絶な1億円バトル

年末を締めるグランプリは、優勝賞金が1億円となって大いにヒートアップした。トライアルで失格が続出、6・3・5着だった西島が決定戦に乗れて、さらにラッキーなことに1号艇をゲット(当時は艇番を抽選)。

しかし、何と6号艇の今村豊が前付けからインを奪取! 両者はやや深くなり、3コースの熊谷がまくって出た。だがその大混戦に断を下したのは、大外からまくり差しを敢行した服部幸男。これが見事に決まり、1億円を手にして最優秀選手にも輝いた。

ボート界で最初にナイターレースを開催した桐生



GP優勝戦は1レースだけで61億1514万7500円を売り上げた





# ボートレース界に激震! 植木通彦が電撃引退発表

## 2007年

記憶に残る選手 植木通彦

この年のSG第一弾・クラシックで、1号艇の植木通彦がフライング欠場、地元の前野谷憲吾が優勝した。このフライングで植木は1年間のSG出走権を失ったが、7月に突然の引退を発表した。会見ではこのFが直接の理由ではなく、「デビュー後間もない桐生での事故の後に『命がけで20年間走ろう』と決心して、その20年が来たので」と語った。

植木の残した戦績はもちろん超一流の数字だ。ただ史上1位といえる記録は、年間獲得賞金(02年の2億8418万4000円はボート界のみならず公営競技最高記録)ぐらいである。しかしモンキーターンの衝撃と、95年に中道善博とのグランプリをはじめとする名勝負の数々は、ファンを魅了し続けた。まさに、記憶に残る選手だった。

### 2007年主な出来事

- 第1回東京マラソン開催
- ZARDの坂井泉水さん、転落死
- 参院選で自民党が大敗し民主党が第一党に
- 相次ぐ食品偽装問題
- 【流行語大賞】「どげんかせんといかん」(東国原英夫宮崎県知事)、ハニカミ王子(石川遼)

### 優秀選手表彰

【最優秀選手】	魚谷智之
【最優秀新人選手】	岡崎恭裕
【最多賞金獲得選手】	魚谷智之
【最高勝率選手】	服部幸男
【最多勝利選手】	木村光宏
【優秀女子選手】	寺田千恵
【特別賞】	湯川浩二
【記者大賞】	魚谷智之



引退会見を行う植木通彦

グランプリは初めて福岡で開催

クラシック以降のSGは、オーラスターで瓜生正義、グラントチャampionで湯川浩司(同年のチャレンジカップも制覇)、ダービーで高橋勲とSG初制覇が続出。また前年のダービー王・魚谷智之がオーシャンカップ↓メモリアルを連覇した。

そして迎えた年末のグランプリは、第22回にして初めて福岡で開催。それまで惜敗の多かった吉川元浩がSG初Vを飾った。

なお、年間の最多賞金獲得選手は魚谷で、同じく最優秀選手の栄

冠も魚谷が獲得した。

また女子戦線では、これまで女子として初めてのSG優出などキヤリア豊かな寺田千恵が初めてレディースチャンピオンを制して、3回目の優秀女子選手に選ばれた。

ボートピア梅田がオープン

場外舟券発売場「ボートピア」(現在は「ボートレーススケッチシヨップ」と改称)「BTS」とも略す)が盛んに作られたもの頃だ。

その中でも屈指の規模を誇る「ボートピア梅田」がオープンしたのはこの年。一時は住之江や尼崎本場の売れ行きにも影響した、と言われるほどの売上を記録したものである。

また九州を中心に、窓口数のそれほど多くない「ミニボートピア」が続々とオープンしていった。こちらは大都市における大型施設とは異なり、地方の小都市や国道沿いに数多く設置され、地道にファンを増やしていくのに効果があったように思う。



夏のナイターSGを連覇した魚谷智之